



観光で米沢の経済を回します

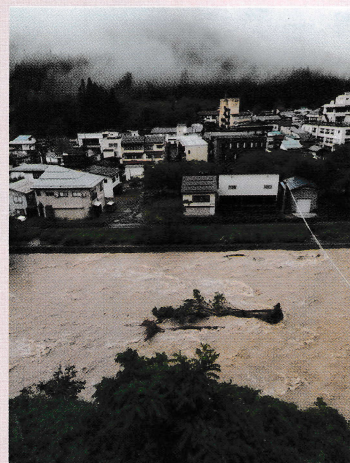
国においても観光は、重要な産業として力を入れております。山形県も観光立県を目指しており、米沢市でも第4期振興計画により、基本理念として「本市の多彩な観光資源の魅力を発信し続けること」で、より選ばれる観光地米沢として国内外から多くの観光客が訪れるとともに、来訪者が満足できるおもてなしが充実したまち」としています。また、今後5年間のキーワードとして「観光DX」「広域連携」「組織体制」「地域資源」をあげています。米沢八湯や歴史文化、食の文化、自然の文化を活かしながら、コロナ後の観光(インバウンド観光も含め)において、交流人口を増やすために、経験豊かなご年配の方にも力を発揮していただき、若者や子供たちと米沢の魅力を作り、伝えるように発信し続けます。



農家民泊を、関地区のみならずと行っています。新型コロナウイルス

又感染症の規制で令和2年の台湾の国際教育旅行を最後に実施出来ませんでした。

コロナ規制が緩和した令和4年11月に政府の交流事業「カケハシ・プロジェクト」に参加するアメリカの大学生19人を受け入れました。これからも農家民泊活動を通して国際交流を続けていきます。



近年、気候変動や温暖化により自然災害が激甚化、類発化しています。米沢市も令和4年8月には大雨特別警報が発せられました。また毎年、豪雪による被害、雪下ろしや除雪作業中における事故もあります。このような中、防災や減災に関する知識の必要性を感じ、令和4年1月に防災士の資格を取得しました。

※防災士とは、自助、共助、協働を原則として公助との連携充実につとめて社会の様々な場で防災力を高める活動をします。



防災士

東吾妻山の観光推進は

東吾妻山一帯の観光について、今までのような施策を行ってきたか。

【産業部長】令和元年度より福島市と連携し、外国人観光客に向けて姥湯温泉や五色沼などの観光資源を用いたプロモーション映像を制作し、台湾や欧米向けのオンライン広告等によるPRを展開しました。また、安全な登山につながるため、英語、中国語の多言語トレイルマップや鳥瞰図パネルを作成しました。さらに、国内在住外国人を対象に、峠駅から滑川温泉までのスノーシュートレッキングと宿泊体験を通して、SDGsの観点から本地域の魅力を探るモニターツアーなどのプログラムを実施しました。

新たな施策を展開する考

えはあるか。

【産業部長】本市の観光づくりを進めるDMO「プラットフォームネザワ(株)」が、観光庁の「看板商品創出事業」を活用し、峠駅や滑川大滝を中心としたエリアへの観光戦略策定事業を進めており、域内の事業者や観光事業者間で課題等を共有しながらコンテンツ化を図り、外国人富裕層をターゲットとした誘客施策を検討していきたいと考えています。

また、昨年度から「磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト」が開始されています。国及び本市を含む関係自治体が連携し、5か年計画で国立公園の自然の魅力を将来世代に引き継げるように保全しながら、世界水準のナショナルパークを目指していきます。



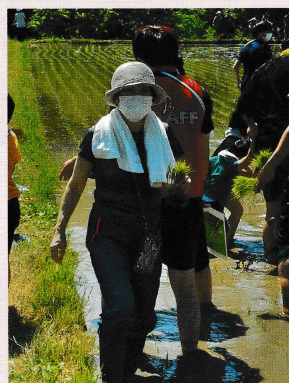
本市の人口減少対策は

子どもを産み、育てやすい環境は整っているか。

【健康福祉部長】今年度から、子ども家庭総合支援拠点を子ども家庭課に設置し、関係機関と連携しながら、複雑化した子育ての悩みや家庭の困りごとなどの相談に保健師、社会福祉士、保育士などが応じ、必要な支援に係るソーシャルワークを行っています。



毎年、三沢コミュニティセンター・田んぼアート水田で行われている、田んぼアートの田植え体験



に今年も5月29日に参加しました。お天気にも恵まれ、参加者のみなさんと交流を図り、気持ちの良い汗を流しました。今年の絵柄は上杉鷹山公でした。



大切な作物を荒らす獣害(イノシシ、シカ、サル、クマ、ハクビシンなど)から守るための電気柵の設置作業をしました。特に猿害対策は今後も力を入れて行く考えです。また、イノシシによる被害は、作物への食害だけでなく、耕地の掘り起こし土手や水路を崩すなど農業基盤への被害もあります。

大切な作物を荒らす獣害(イノシシ、シカ、サル、クマ、ハクビシンなど)から守るための電気柵の設置作業をしました。特に猿害対策は今後も力を入れて行く考えです。また、イノシシによる被害は、作物への食害だけでなく、耕地の掘り起こし土手や水路を崩すなど農業基盤への被害もあります。